

コマーシャルメッセージ

平成26年9月版

被災地の一日も早い復興を願いながら、できることを粛々と行なっていきたいと思いをします。

6月の住宅着工は、貸家は増加しましたが、持ち家と分譲住宅は減少したため、全体で減少となりました。

6月の新設着工戸数は75,757戸で、前年同月比9.5%の減少になりました。

4か月連続の減少です。

季節調整済み年率換算値は883,000戸です。

持家は24,864戸で前年同月比19.0%減、5か月連続の減少。

貸し家は31,058戸で、1.8%増、16か月連続の増加。

内、民間資金による貸家は28,056戸で、前年同月比4.1%増、16か月連続の増加です。

分譲住宅は19,415戸で11.9%減、5か月連続の減少。

内、マンションは7,754戸、24.5%減で、5か月連続の減少。

一戸建て住宅は11,491戸で、1.4%減、2か月連続の減少。

地域別戸数は、首都圏対前年同月比9.9%減、中部圏20.7%減、その他地域は8.4%減です。

近畿圏は、対前年同月比1.6%減です。

近畿の府県別対前年同月比は、滋賀1.8%増、京都18.8%減、大阪8.4%増、兵庫0.7%減、奈良38.1%減、和歌山4.4%減でした。

東京は対前年同月比0.6%増、愛知は30.5%減です。

民間非居住建築物では、店舗、工場は減少しましたが、事務所、倉庫が増加したため、全体で増加となりました。

着工床面積は、1,188m²で、前年同月比6.9%減です。

環境対策の点からも、木材は循環型の再生可能な資源です。燃やされない限り、木材は二酸化炭素を体内に固定し続けます。新たに植樹することにより、若木のCO₂吸収量は活発化します。木材を使うこと自体は、決して森林破壊にはなりません。

仮設材に使用される木材も、単なるゴミはならず、木材チップなどに再利用されています。

木材を多くご利用いただけることが、環境を良くすることをご理解いただけたら幸いです。

先月に引き続いて、木材、合板ともに荷動きが悪く、価格は横ばいもしくは下落です。

今月中には反転、上昇傾向になると思います。



NO. 1 仮設材について

仮設材の流通在庫は通常です。全般的に価格横ばいもしくは下落傾向です。

矢板の価格は落ち着きました。納期も正常に戻っています。

横矢板既製品寸法の厚み27mm・30mm・35mmは在庫しています。

国産樹種で主に流通しているアイテムは落ち着いています。

型枠用合板は流通在庫も通常で、価格も下がっています。

棧木は仮囲い用の仮設棧(棧木2等品)をご用意しています。

リン木は桧・杉材や米桐材にてご用意(時期により在庫樹種は変わります)。

養生ベニヤ12mmをご用意しています(12mm x 900mm x 1,800mm)。

その他、養生ベニヤ用として、2.5mm・5.5mm・9mmの3尺x6尺を在庫しています。

両面フェースはラワンです。芯材はポプラです。

NONJAS品のため、住宅養生には適しません。厚みムラもあります。

NO. 2 米松梁材について

米材梁桁材は、若干の下降傾向です。

NO. 3 外国産構造材について

ホワイトウッド材は横ばいです。

赤松材・米松材ともに横ばい傾向です。



NO. 4 国産構造材について

桧材杉材ともに横ばい傾向です。

国産材を使用する意義は、国内山林の環境保護・国内林業の活性化・自給率UP・花粉症対策だと思えます。

そして、国産材の域に留まらず、兵庫県産材の動きのように、地域材を積極的に使っていこうという気運もあります。

知名度は低いですが、「大阪府内産材」にも同じ動きが官公庁関係を中心に出ています。

弊社は大阪府内産材を積極的にPRしています。

特に大阪府の特徴でもある桧材の流通を目指しています。

公共建築物等木材利用促進法の成立により、国産材は脚光を浴びています。

NO. 5 造作材 米桐無節・上小節材(粗木)について

別注品対応をしています。

NO. 6 無垢材について

建材造作材の一般住宅への定番化により、無垢材利用がかなり減っています。

樹種を問わず、原木・製材品化されたもの共に、入荷量が少なくなっています。

NO. 7 積層材について

積層材既製品(フリー板)の取り扱いアイテムを増やしています。

NO. 8 内外装下地材について(ベニヤ・ボード等)

合板全般に横ばいですが、今後上昇傾向にあります。

ラワン合板は、横ばいから上昇機運にあります。

針葉樹合板は、若干の下落から反転上昇気味になりそうです。

ケイカル板は、5mmに代わって6mmを在庫しています。

NO. 9 内装仕上げ材について(建材メーカー商品等)

パナソニックと特約代理店契約を結んでいます。
これまで以上に販売強化に努めています。

NO. 10 断熱材関係商品について

グラスウールはほぼ通常です。

NO. 11 養生材について

養生材の販売強化に努めています。

NO. 12 接着剤について

今のところ、大きな状況の変化はありません。

NO. 13 金物・現場備品について

販売強化に努めています。



NO. 14 加工費について

加工に強い会社を目指しています。

NO. 15 各建材メーカー商品について

システムキッチン・ユニットバスなどの水回り設備機器商品の納期は、各メーカーとも安定しています。



地産地消 — 地域材

大阪府内産を始め、京都府内産・市内産など地域材活用を推進しています。

国産材・地域材志向のお施主様のお役に立ちます。

地域と自社の活性化のために活動しています。

「おおさか木の家づくり隊」は、大阪の木を使った、良質な住まいづくりを目指しています。



優しさ — 福祉

個人的にご購入検討の時なども、是非、お声がけください。

介護保険適用特定福祉用具販売事業者になりました。

介護保険適用事業所 **たろうの店 きごころ**

「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」事業所番号2772701435



安らぎ — 耐震

耐震診断・耐震相談など、お声がけください。

耐震リフォームの時など、ご相談ください。

木材業界と京都大学が編み出した耐震工法「壁柱」を推進しています。



思いやり - エコロジー

エコライフ・エコ商品のご提案をします。

エコリフォームの時など、ご相談ください。

エコライフのためのアドバイス、太陽光発電などのエコ商品を販売しています。

日本には日本の木を、大阪には大阪の木を、と願って、
優しさと安らぎと思いやりをテーマに
地域の福祉や環境に貢献できるような、
まじめな会社と言われたい。



ご用命よろしくお願ひ申し上げます。

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9

TEL 06-6552-0781

FAX 06-6552-0784